北朝鮮による弾道ミサイルの発射に抗議する決議

北朝鮮は、国際社会の度重なる抗議と警告にもかかわらず、弾道ミサイル等の発射を繰り返しており、去る11月29日にもICBM級とみられるミサイルを発射した。

このことは国連安全保障理事会決議や日朝平壤宣言に違反するとともに、六者会合共同声明の趣旨にも反するもので、国際社会の一致した平和的解決への強い意志を踏みにじる暴挙であり、断じて容認することはできない。

西条市議会は、これまでも「核兵器廃絶・平和都市宣言」を決議し、さらに「北朝鮮の核実験に抗議し、核兵器及び核計画の放棄を求める決議」を行うことにより、北朝鮮の行為に対し厳しく批判してきたにもかかわらず、北朝鮮に政策を改める意思は感じられず、逆に核・ミサイルの脅威を背景として国際社会への発言力を強めようと技術開発を継続しており、国民の生命・財産に対し、現実として、重大かつ切実な危機が迫っているものと考えざるを得ない。

よって、本市議会は、北朝鮮の弾道ミサイル発射に対して重ねて厳重に抗議し、強く非難するとともに、核実験及び弾道ミサイルによる更なる挑発行為を行わないよう強く要求する。

また、国においては、関係各国と緊密に連携し、国連安全保障理事会決議に基づく制裁措置を完全履行してその実効性を確保するほか、問題の解決に向けて適切な措置を講じ、我が国の平和と国民の安全・安心の確保に万全を期すよう要請するものである。

以上、決議する。

平成29年12月22日

愛媛県西条市議会